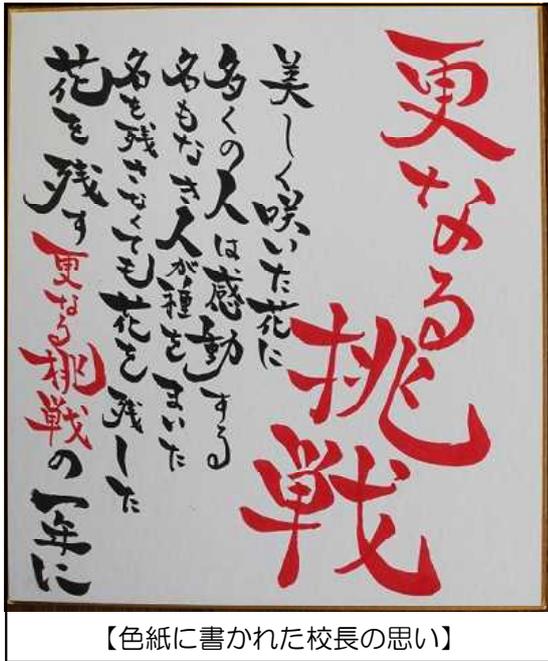


# 蔵地台地

～ 「夢」と「高森の心」を育み、  
挑戦し続ける学校 ～

熊本県高森町立高森東学園義務教育学校  
【学校便りNo.14】H30.7.4 文責：塩村

## 「何を残すか」で人間の真価が問われる！ ～ 「更なる挑戦」に込められた校長の思い ～



【色紙に書かれた校長の思い】

「人間は『何を残すか』が重要である。」  
これは、4月当初に池田校長が本校職員や児童生徒に対して話された言葉です。

本校の職員住宅がある土手には、毎年、春になると「ひがし」という文字の形に植えられた、きれいなスイセンの花が咲きます。この花を見ると、春が来て新たな1年が始まるんだという気持ちになり、明るい希望が芽生えてきます。

だれかが花の種を植えてくれたお陰で、そこには毎年決まって花が咲きます。その人はだれだか分かりません。しかし、毎年咲く花を残してくれたことは事実です。人知れず、花を残してくれたことで、私たちは毎年感動できるのです。

「花を残す」ことができるように、子どもたち、職員ともに「更なる挑戦」ができる一年にしてもらいたい。校長先生は、だれかが植えてくれたスイセンの花に例えてこのような思いを伝えられたのだと思います。

児童生徒の皆さん、「今年はこれをやりきった」「こんなことができるようになった」という結果を残す一年になるように、今後も「更なる挑戦」をしていきましょう。

## 断る勇気を! Just say "NO" to drugs.

～ 「社会を明るくする運動」実施（後期課程対象） ～



7月2日（月）早朝、保護司や民生児童委員の方々、駐在所の大潮さんらが来校され、SNSや薬物乱用による犯罪の恐怖について話をいただきました。

「自分は大丈夫」と思っているあなた、油断は禁物です。私たちの身の回りには、いろんな誘惑が潜んでいます。ちょっとした気の緩みから犯罪に巻き込まれるケースがたくさんあります。

夏休み中は、見知らぬ人に出くわすことも多くなると思います。危ないと思ったらはっきりと断る勇気を持ち、事件や事故に巻き込まれないようにしましょう。



【大潮さんの話を真剣に聞く生徒ら】